

平成29年5月25日発行  
 発行/宇佐市議会  
 直通:0978-32-2328  
 Fax:0978-32-1437

# 宇佐市議会



《議員一押しの写真》 駅名標が新調されて以来、多くの方が写真を撮りに訪れ、JR宇佐駅が新たな名所となっています。宇佐神宮をモチーフに、紅白のストライプで屋根などを描き、左上には青色の背景に白文字で「八幡総本宮宇佐神宮」と記されています。遠くから見ると米国旗に見えるデザインで、話題を呼んでいます。本年1月21日には市内団体が駅周辺で「宇佐アメリカン駅」のイベントを行い、約3000人の来場者でにぎわったそうです。「宇佐駅」の歴史は古く、律令制下の駅名にみられます。豊前国府から豊後国府へ至る官道の駅の1つで、宇佐神宮に近い交通の要衝にあったと考えられています。今も昔も、「宇佐駅」は人々をつないでいます。

NEW

スマホも対応!

## 3月定例会

平成29年度一般会計・特別会計当初予算ほか37件を可決、同意

《	3月定例会の審議結果	.....P.2~5
目	3月定例会の一般質問	.....P.5~11
次	傍聴規則の改正	.....P.12
》	6月定例会のお知らせほか	.....P.12

議会ホームページ

<http://www.city.usa.oita.jp/site/gikai/>

宇佐市議会 検索



# 本会議の審議結果

## ○議案

番号	件名	結果
第1号	<p><b>平成28年度宇佐市一般会計補正予算（第6号）</b>            (総務) 宇佐・高田・国東広域事務組合の補正に伴う同負担金3,464万5千円の減額、ごみ焼却センター灰出コンベアの経年劣化による機器更新経費2,959万2千円の増額など。            (文教福祉) 障害福祉サービス事業3,145万8千円、保育所措置費2,512万4千円の増額のほか、後期高齢者医療連合負担金2,658万5千円、公共工事対応発掘調査事業6,633万円、宇佐海軍航空隊跡保存整備事業4,952万円の減額など。            (産業建設) 国の第2次補正予算に伴う補助金を活用し、農業生産基盤の強化・整備を行う産地パワーアップ事業1億911万3千円、地方創生拠点整備交付金を活用し、移住体験施設として改修などを行う、子育て世帯移住促進プロジェクト事業2,740千円の増額など。</p>	原案可決
第2号	<p><b>平成28年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）</b>            補正額は、3億2,226万1千円の減額。歳出で保険給付費および保険財政共同安定化事業拠出金の確定に伴う減額、歳入で療養給付費負担金の確定に伴う減額と一般会計繰入金等の財源調整を行うもの。</p>	〃
第3号	<p><b>平成28年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第3号）</b>            補正額は、881万1千円の減額。歳出で地域支援事業費などの減額、歳入で繰入金の減額による財源調整等を行うもの。</p>	〃
第4号	<p><b>平成28年度宇佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）</b>            補正額は、7万9千円の減額。歳出で維持管理経費の減額、歳入で一般会計繰入金等の財源更生を行うもの。</p>	〃
第5号	<p><b>平成28年度宇佐市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）</b>            補正額は、1億3,389万5千円の減額。歳出で建設事業費の確定に伴う減額、歳入で県道改良工事に伴う布設替えなどの繰り越しにより、国庫補助金及び一般会計繰入金等の財源調整を行うもの。</p>	〃
第6号	<p><b>平成28年度宇佐市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）</b>            補正額は、4,190万9千円の減額。歳出で不明水対策事業に係る管渠改修工事費の減額、歳入で下水道使用料等の財源調整を行うもの。</p>	〃
第7号	<p><b>平成28年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）</b>            補正額は、43万8千円の減額。歳出で維持管理費の減額、歳入で加入分担金の減額に伴う一般会計繰入金等の財源調整を行うもの。</p>	〃
第8号	<p><b>平成28年度宇佐市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）</b>            補正額は、499万3千円の減額。歳出で臨時職員賃金の減額、歳入で介護サービス収入等の財源調整等を行うもの。</p>	〃
第9号	<p><b>平成28年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）</b>            補正額は、428万7千円の増額。歳出で医療保険料負担金の増額に伴う負担金の増額、歳入で一般会計繰入金等の財源調整等を行うもの。</p>	〃
第10号	<p><b>平成28年度宇佐市水道事業会計補正予算（第1号）</b>            補正額なし。平成29年度宇佐市水道事業水質試験（検査）業務委託、および電子計算機等賃貸借（増設分）について債務負担行為を追加するもの。</p>	〃
第11号	<p><b>平成29年度宇佐市一般会計予算</b>            予算総額は282億4,300千円で、市長改選期で骨格予算として編成。前年度比2.3%の減。            歳出は、総務費は新庁舎建設関連事業、安心院地域複合支所建設事業などの増により、3億8,767万3千円の増額、衛生費で広域ごみ処理施設に係る負担金、後期高齢者医療広域連合負担金などの増により、9,015万7千円の増額、教育費で平和ミュージアム（仮称）関連事業などの増額により、1,645万1千円の増額のほか、民生費で臨時福祉給付</p>	〃

	<p>金事業の終了などにより、4億9,224万円の減額、農林水産業費で長洲漁港漁業集落環境整備事業などの減により2億6,164万円の減額。</p> <p>歳入は、臨時福祉給付金事業の終了などにより、国庫支出金が5億8,684万6千円の減額、地方交付税が4億4,500万円の減額。</p> <p>市債は、スポーツ施設拠点整備事業などの増により、3億3,441万円の増額。</p>	
第12号	<p><b>平成29年度宇佐市国民健康保険特別会計予算</b></p> <p>予算総額は85億1,800万円。後期高齢者支援金や共同事業拠出金が減額すること、歳入で被保険者の減少や課税対象所得額の減額による国民健康保険税の減収や退職者医療制度の終了による療養給付費等交付金の減額などにより、前年度比1.1%の減。</p>	〃
第13号	<p><b>平成29年度宇佐市介護保険特別会計予算</b></p> <p>予算総額は62億1,840万円。第7期介護保険事業計画の策定経費、介護サービス受給者等の増加、ならびに認知症施策の拡充などにより、前年度比1.9%の増。</p>	〃
第14号	<p><b>平成29年度宇佐市農業集落排水事業特別会計予算</b></p> <p>予算総額は3億1,680万円。建設事業費で処理施設の機器更新工事などにより、前年度比8.3%増額。</p>	〃
第15号	<p><b>平成29年度宇佐市公共下水道事業特別会計予算</b></p> <p>予算総額は13億5,760万円。不明水対策事業の増、柳ヶ浦地区処理区域拡大に係る調査費用を計上などにより、前年度比9.8%増額。</p>	〃
第16号	<p><b>平成29年度宇佐市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算</b></p> <p>予算総額は1億6,220万円。公営企業会計への移行を見据えた準備経費として公営企業会計適用債の増などにより、前年度比3.6%増額。</p>	〃
第17号	<p><b>平成29年度宇佐市介護サービス事業特別会計予算</b></p> <p>予算総額は2,050万円。主な内容は市債償還金等で、指定管理者制度の導入に伴い、前年度比94.7%の減額。</p>	〃
第18号	<p><b>平成29年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算</b></p> <p>予算総額は7億3,650万円。被保険者数の増加等に伴う保険料等の増により、前年度比3.0%の増。</p>	〃
第19号	<p><b>平成29年度宇佐市水道事業会計予算</b></p> <p>簡易水道事業との統合により、収益的収支予算は10億6,010万8千円、前年度比62.8%の増額。資本的収支予算の収入は1億5,270万円で前年度比384.8%の増。支出は6億8,182万9千円で106.2%の増。不足額は減債積立金などで補填。</p>	〃
第20号	<p><b>宇佐市宇佐空の郷設置条例の制定</b></p> <p>宇佐海軍航空隊跡に残る戦争遺構めぐりの拠点施設として、宇佐空の郷(うさくうのさと)を設置する条例を制定するもの。</p>	〃
第21号	<p><b>宇佐市簡易水道事業等の宇佐市水道事業への統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定</b></p> <p>簡易水道事業および飲料水供給施設事業の経営安定化を諮ることを目的に、水道事業へ統合することに伴い、関係条例の所要既定の整備をする条例を制定するもの。</p>	〃
第22号 第23号	<p><b>宇佐市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正</b></p> <p><b>宇佐市職員の育児休業等に関する条例の一部改正</b></p> <p>働きながら育児や介護がしやすい環境整備を更に進めるため、民間及び人事院勧告等を踏まえた国家公務員の規定の改正に準じて改正を行うもの。</p>	〃
第24号	<p><b>宇佐市特別職報酬等審議会条例の一部改正</b></p> <p>市特別職報酬審議会において、市長、副市長および教育長の退職手当を審議対象に加えるため、改正を行うもの。</p>	〃
第25号	<p><b>宇佐市職員の給与に関する条例及び宇佐市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正</b></p> <p>本年4月1日から特別養護老人ホーム妙見荘が指定管理者制度を導入することに伴い、妙見荘職員の手当に係る規定を削除するため、改正を行うもの。</p>	〃
第26号	<p><b>宇佐市職員の給与に関する条例及び宇佐市職員の給与の特例に関する条例の一部改正</b></p> <p>人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定に準じて、市職員の扶養手当を改定するとともに市職員の給与の特例に関する条例により職員給料の減額を引き続き実施するため、改正を行うもの。</p>	〃

第27号	<b>宇佐市税条例等の一部改正</b> 消費税引き上げの実施時期の変更に伴い、法人住民税の法人税割の税率の引き下げの実施時期、ならびに軽自動車税における環境性能割の導入時期の変更に伴った制定の整備のため、改正を行うもの。	原案可決
第28号	<b>宇佐市手数料条例の一部改正</b> 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する効率の施行に伴い、新たに一定規模以上の新築、増改築をする非住宅建築物に対する建築物のエネルギー消費性能適合判定に要する審査手数料を定めるため、改正するもの。	〃
第29号	<b>宇佐市社会教育集会所条例の一部改正</b> 市社会教育集会所から木裳集会所の規定を削除するため、改正を行うもの	〃
第30号	<b>宇佐市介護保険条例の一部改正</b> 介護保険法施行令の改正により、平成29年度における第1号被保険者の介護保険料の段階の判定に関する基準の特例として、現行の所得指標である合計所得金額から、長期譲渡所得および短期譲渡所得に係る特別控除額を控除した額を用いることができるとされたため、改正を行うもの。	〃
第31号	<b>宇佐市市営住宅条例の一部改正</b> 現在、過疎地域及び若者の定住促進を図るため、安心院・院内地域に所在する市営住宅において認めている単身者の入居について、一定の要件を満たす市内全域の市営住宅についても入居を認めるため、改正するもの。	〃
第32号	<b>宇佐市工場立地法地域準則条例の一部改正</b> 工場立地法の一部改正に伴い、引用条項に項ずれが生じたため、改正するもの。	〃
第33号	<b>市道路線の認定及び変更</b> 県道の改良・拡幅工事に伴い、新たに1路線を認定し、1路線を変更するもの。	〃
第34号	<b>工事委託に関する協定の変更</b> 日本下水道事業団と四日市・駅川浄化センター水処理施設増設工事の委託に関する協定について、協定金額と相手方の代表者の変更が生じたため、協定の一部を変更するもの。	〃
第35号	<b>市有財産の無償譲渡</b> 昭和55年度に建設した木裳集会所について、木裳自治会から譲渡申請があり、関係法令等による基準に適合するため、無償譲渡することについて議会の議決を求めるもの。	〃
第36号	<b>不動産の取得</b> 平成19年9月に市が売り渡した株式会社マブチが所有する大字上庄の工業用地を買戻し取得することについて議会の議決を求めるもの。	〃
第37号	<b>宇佐市人権擁護委員の推薦</b> 市人権擁護委員として、 <small>ほげぎしやう</small> 羽下義正氏を推薦することについて議会の意見を求めるもの。	原案同意

○本会議で全会一致でなかった議案の表決結果

(賛成=○ 反対=×)

議案番号	中本 毅	川谷 光紹	和気 伸哉	多田 羅純一	後藤 竜也	衛藤 義弘	河野 康臣	井本 裕明	辛島 光司	今石 靖代	新開 洋一	林 寛	用松 律夫	大隈 尚人	衛藤 正明	佐田 則昭	高橋 宜宏	中村 明美	笠口 孝	永松 郁	斉藤 文博	浜永 義機	衛藤 博幸	中島 孝行
11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長につき表決なし

## ○請願

番号	件名	結果
第1号	発達障害への理解を深め、環境改善を求める請願書 「①早期発見につながる啓発活動の推進および医療機関との連携、②各関係機関の連携強化、③発達障害児のサポート態勢の充実」を求めるもの。	採択
第2号	市道格上げへの請願書 大字南宇佐字藤田の里道（約190m）の市道への格上げと舗装化を求めるもの。	不採択

## ○議員提出議案

番号	件名	結果
第1号	宇佐市議会会議規則の一部改正 機関意思決定議案（会議規則、意見書案、決議案など）の提出要件を団体意思決定議案（条例の制定や改廃など）と同等要件となるよう改正を行うもの。	原案可決

## 13人の議員が市政について質問しました！

## 市民の安全を守るために



- 問① 災害対策について。
- (1) 災害発生時における避難所運営で、市の職員以外で避難所を立ち上げる「分かりやすいマニュアル整備」が必要では。
- 答 熊本地震の検証で、新年度から「宇佐市避難所運営マニュアル」の策定作業を行う。
- (2) 避難所設営の訓練の実施状況はどうなっているか。
- 答 マニュアル作成後に訓練の実施につなげていきたい。
- (3) 避難所誘導マップの作成と我が家の防災マニュアルの作成が必要では。
- 答 まずは、土砂災害警戒区域が存在する自治区を対象に、避難所誘導を盛り込んだハザードマップの作製に取り組む。また、防災啓発媒体や市全域における避難所誘導マップを作成したい。
- (4) 大規模災害で、停電を想定

- した時に、辺り一面が真っ暗で逃げるできない。屋外専用の蓄光製品を舗道など路面に設置し、誘導経路版や外灯として、試験的に導入してはどうか。
- 答 蓄光板は、大分市も導入すると聞いているので、参考にしたい。
- 問② 市民の安全対策について。
- (1) ドローンの法的規則、運行・管理のルールは。
- 答 航空法、ドローンやラジコン機等の「無人航空機の安全な飛行ガイドライン」で定められている飛行禁止空域を遵守し、第三者に迷惑をかけずに安全飛行を行う。活用方針や管理運営方法など明確なルールを作る。
- (2) ドローンは、行方不明者や徘徊者・災害時など、多岐に効果を発揮するが、どのような利用を考えているのか。
- 答 火災現場や文化財の調査、観光スポットの撮影など、多岐に利用できるもので有効活用を考える。
- (3) オレオレ詐欺や還付金詐欺の防止策で、受話器の横に「卓上ミニのぼり旗」に注意喚起の表示をし、防止策として検討を。
- 答 啓発グッズの候補として検討する。

# 自主防災組織の充実を



斉藤 文博 (市民連合)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 自主防災組織の現状と今後の取り組みは。

答 市の自主防災組織率は、約92%と県全体の平均値とほぼ同じ水準であるが、十分な活動が行われていない組織も存在すると思われる。市では、人的・財政的な支援を柱とした人的防災組織の事業を推進するとともに、組織率100%の達成に向け、継続的に取り組んでいきたい。

問② 住宅用火災警報器の設置状況と今後の取り組みは。

答 平成23年6月1日の住宅用火災警報器の設置義務化以降、設置率は80%前後で推移している。今後も、火災予防運動中に設置状況の調査や、多数の人が出入りする場所での設置普及の広報を実施する。法改正後10年が経過し、初期に設置した住宅用火災警報器が交換の時期を迎

えているため、機器の交換等の周知を行う。なお、2月に市内で発生した住宅火災において、火災警報器が作動したことによって、家族全員が無事に逃げ出せた事例もあり、今後、未設置世帯に対して働きかけていく。



問③ アメリカのTPP離脱は、宇佐市に影響があるのか。

答 農業関連では、農林水産省は総合的なTPP関連政策大綱の「検討の継続項目」のうち、検討を進めることとされた9項目を含めた、生産資材価格の引き下げや農産物の流通・加工構造の改革など13項目の「農業競争力強化プログラム」を昨年11月に公表し、更なる農業の競争力強化を実現するとしている。現時点で、TPPが発行されていないこともあり、影響はないものと考えられる。一方、自動車関連では、影響ははっきりしないが、日産九州やトヨタ自動車九州など、自動車メーカーはアメリカへの輸出依存度が高まっていることから、影響が懸念される。

# “USA”をもっと元気に!!



辛島 光司 (照政会)

問① 『街の元気アップ!』(1)「はちまんの郷」の設備改修が課題となっている。早急な対応が望まれるが。

答 施設自体の老朽化が進んでいる。必要な改修から順次、実施していく。(2) 畑の耕作放棄地が増えている。放棄地となる前に集積や拡大を促す誘導政策が必要ではないか。

答 放棄地となる前の対策は必要だと認識している。今後、有効な手段を模索していく。(3) 全自治区の約8割がLED防犯灯への切り替えを完了している。柳ヶ浦3区の防犯灯(街灯)は、班ごとの管理となっていて、補助申請は、班単位でも可能か。また、可能ならば手順は。

答 班単位の切り替えも可能。

手順は、まず各班において最寄りの電気店・電気工事店に相談の上、申請に必要な書類等の作成、切り替えたい防犯灯の箇所を確定した上で、区長を通して申請書類の提出となる。

問② 『人の元気アップ!』(1) 年が明け、新年度前の時期になると、「なぜ、希望の保育園に入れなかったのか。」と毎年のように問い合わせをいただく。第3者機関を設置して審査方法・選定結果を客観的に判断してもらったかどうか。

答 透明性の確保も必要だと認識している。個人情報に関わるので、慎重に検討していきたい。(2) 消防格納庫の水道料金は、旧安心院町地域では減免していると聞くと、旧宇佐市地域においてはどうか。

答 旧宇佐市においては、お支払いいただいている。今後、減免の方向で検討していく。

(3) 公立幼稚園の園児数13名に対し、運営経費が毎年約7千万円かかる現状をどのように認識しているのか。

答 園児数は年々減少している。今後のあり方は様々な角度から検討していく。

## 誰もが安心して暮らすために



川谷光紹 (愁山会)

問① 地域のために。

(1) 防災行政無線を補完するものとして、戸別受信機を検討していきたいとのことだが、現在設置されている地域以外の麻生や横山でも検討しては。

答 設置を希望する世帯に対しては、防災行政無線の補完機能の充実を目指したい。

(2) 戸別受信機以外にも、大分県警察が行っている「まもめーる」のように、携帯電話やスマートフォンを活用しては。

答 戸別受信機については、導入システムによって事業費に大きな差が生じるので、スマートフォンを活用についても調査研究を行いたい。

(3) 宇佐市観光協会が法人化されることで、まちづくり等に期待されることはなにか。

答 国の交付金を活用した基盤

固めや、ツーリズム戦略組織の立ち上げによる意見の集約、利益を追求した経済活動が可能になることが期待される。

(4) 「宇佐市街なみ環境整備地区空き家空き店舗補助金」は、有意義な補助金だと思うが、申請者が少ない。より活用しやすいように改善しては。

答 街なみ環境整備地区だけでなく、活用されやすいように対象地域の拡大を検討したい。

(5) 響山公園と、市道響山公園線を整備して、四日市のウォーキングコースとしては。

答 路肩崩壊の補修、車両の通行に支障のある枝の伐採等、早急に取り組みたい。

問② 子どもたちのために。

(1) 奨学金返還支援事業を、宇佐市在住で市外の学校に通う生徒も対象にしては。

答 当制度の効果を検証し、対象者拡大の必要性について調査研究したい。

その他の質問(セーフコミュニティ事業について、進出企業やベンチャー企業への支援策について、市内高校への留学生の受け入れについて、公立幼稚園の今後について、小児救急につい

て)

## はちまんの郷、教育、公共交通等に関して



後藤竜也 (政友会)

問① はちまんの郷に関して、現在の状況と、市民の声を受けて、今後どのような方針を考えているか。

答 昨年度は黒字だが、今年度は減収見込みである。苦情等に関して、その都度、運営会社と協議し、市が補修すべきものは補修し、サービス改善についても協議の場を持っている。来年度が賃貸借契約の最終年となるため、施設評価、調査の結果を取りまとめ、分析を行い、今後のあり方について方向性をまとめていきたい。

問② 教育に関して。

(1) 標準授業時間数は確保できているか。また、学習指導要領改訂に伴う時間数増にはどのように対応していくのか。

答 確保できている。今後も、土曜授業による授業時間数確保

を基盤に、個に応じた学力の育成に取組んでいきたい。

(2) NIE(教育に新聞を)を推進していくとの方針だが、幅広い考えに接するように新聞や題材は慎重に選び、進めるべきではないか。

答 児童生徒の発達段階に応じた、適した記事を選ぶことが重要だと考えており、特に時事問題においては、事実を多方面から捉えていくように配慮している。

問③ 地域医療について、今後の医療体制再編に向けての議論は進んでいるか。

答 休日夜間を含めた救急医療体制を確保するため、医師会や大分大学と連携していく。

問④ 市内の移動手段について、免許返納や交通弱者対策として、現状の路線バスやコミュニティバスに加え、デマンドタクシー、タクシー補助等、交通体系再編の必要があるが、どのように考えているか。

答 財源に限りがあり、十分な議論が必要のため、試験運行等も含め、交通空白地対策、交通弱者対策に向けて調査研究を行っていきたい。

# 応募者は、損害賠償請求はできないと規定



用松律夫（日本共産党）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① ごみ処理施設について。  
 (1) 広域組合の入札公告には、組合が必要と認めるときは、入札を中止し、又は取り消す場合、応募者は損害賠償請求ができないとなっているではないか。  
 答 訴訟されるリスクはある。  
 (2) 辞退を余儀なくされたM建設の代表者は、公正入札調査委員会の事情聴取に対して「●●」は▼が受注できるような情報を流したが、それでも▼の受注が危ういので、最後の手段として暴力団を使って■を脅させたのではないかと証言しているが、どのような調査を行い、不正の事実はないとしたのか。  
 答 不正を示す物証や証言は認められなかったとの報告を受けている。  
 (3) 前記のM建設の代表は、「官製談合」と答えているが、どの

ように調査されたのか。  
 答 不正の事実はないと報告を受けている。  
 (4) 宇佐市の焼却炉の建設費は、115tで141億1300万円。別府・杵築・速見では235tの98億7千万円に比べて高すぎるのでは。  
 答 単純に比較できない。  
 問② 「部落差別解消法」の参院の附帯決議にある「民間運動団体過去の行き過ぎた言動」とは何か。また、部落差別の解消を妨げた要因とは何か。  
 答 附帯決議の趣旨を踏まえる。  
 問③ 市長らの退職金を検討する審議会はいつ開かれるのか。  
 答 市長選後になろう。  
 問④ 平和ミュージアムには戦争の被害と加害の実相の展示を。答 掩体壕づくりなどに朝鮮出身者が関わったことなど展示。  
 問⑤ 住宅課や福祉課の窓口では、最初から60歳以下の保証人を採せと言っているが、改善を。答 どうしても見つからない場合いには、免除制度もある。説明不足については改善する。  
 問⑥ 入学祝い金を11月でなく4月中に支給を。  
 答 できるだけ早い時期が望ましいので、時期を検討している。

# 子どもの夜間救急について



多田羅純一（市民連合）

問① 子ども医療について。  
 (1) 中津市民病院の小児救急センターの夜間診療取り止めが4月より決定したが、宇佐市の子どもが急病になった時の夜間救急窓口はどこか。  
 答 22時以降は、中津市民病院が救急電話相談を設け、小児科看護師による急病時の電話相談で診察が必要と判断された場合は、中津市民病院が救急対応を行う。  
 (2) この医療体制は更に悪くなる恐れが有るのか。  
 答 新体制を維持できるような努力をしていく。  
 (3) 市民への周知は、具体的にどのような行うのか。  
 答 「うさごこ」への掲載やチラシの配布等チラシを使つての説明を行い周知に努めていく。  
 (4) 宇佐独自で人材確保に向け

た取り組みはできないか。  
 答 人材確保を行うことは大変厳しい状況であり、県や大学病院等に医師の確保の要請を行うとともに夜間・休日の受診モラルを啓発しつつ、大病院や医師会、近隣の病院の協力を得ながら、2次医療圏の基幹病院である小児救急医療システムの継続を支援していきたい。  
 問② 高齢者による交通事故低減対策について。  
 (1) 昨年、市内における高齢者の事故は、何件発生しているか。  
 答 昨年1年間の市内の人身交通事故発生件数は237件で、その内、高齢者が関係する交通事故は104件となっており、全体の44%を占めている。  
 (2) 高齢者限定で先進安全自動車購入時や急発進防止装置の補助はできないか。  
 答 高齢者事故を減少させるためには、非常に有効な手段と考えており、全国的な動向を含めて調査研究していきたい。  
 その他 (3) 東九州自動車道、宇佐SA（サービスエリア）設置について、(4) 宇佐八幡駐車場に急速充電設備は付けられないか、(5) 2017年版住みたい田舎ベストランキング5位について

## 女性副市長ポストの創設を



中本 毅 (知新会)

**問①** 女性の副市長ポストを創設し、常勤特別職の立場からも女性の感覚や発想を市政に反映しては。

**答** 近年では女性幹部職員の登用率が上がり、様々な分野において女性の感覚や発想が市政に反映されるようになった。検討課題としたい。

**問②** 市民図書館に新設された喫茶スペースが好評であると聞か、実態は。

**答** 来館者のうち「としよかんカフェ」の人数だけを把握することはできないが、増設した自販機の1月分の利用件数は662件にのぼっている。「おしゃれでとても使いやすい」とのご意見を頂いている。

**問③** 消防団員がより活動しやすいよう、オートマ車の導入を。

**答** 若年層の団員は、マニユア

ル免許の取得率が低下してくることが予想されることから、消防団幹部会議に諮りながらオートマ車の導入についても調査研究していきたい。

**問④** ハローワーク宇佐管内の有効求人倍率が昨年12月に1.78倍という高水準を記録したが、雇用や就労をめぐる本市の課題と対策は。

**答** 過去最高となるなど、求職者にとって追い風が続く中、企業にとっては慢性的な人手不足に苦慮している状況。業種別倍率には、ばらつきがあるなど、求人側と求職者にミスマッチが続いていることも大きな課題。

**問⑤** 四日市のまちづくりについて、永岡鮮魚店からサンリブ四日市店にかけての道路整備状況は。

**答** 国の補助事業を活用した舗装補修工事を行うため、路面調査等の点検を行い国の承認を得て本年度より事業化することとなった。元田中温泉から市営プール前を過ぎた交差点までの約300mで、工事期間は3月初旬から5月初旬。残る永岡鮮魚店までの約280mは、今後も全体的な舗装補修工事を行っていく。

市政一般に対する質問

## 移住満足度も日本一へ



和氣伸哉 (桜和会)

**問①** 2017年度版第五回日本「住みたい田舎ベストランキング」において、本市は第5位の評価だったが、今までの取り組みと現状の結果は。

**答** 宇佐市が毎年上位をキープしているのは、移住・定住施策を積極的に展開してきたものがあり、移住者数は全国でも上位を誇っている。

**問②** 都会の若者に移住してもらえる移住支援をどのように考えているのか。

**答** 現在は、空き家バンク制度や若者定住促進住宅の提供、引越し補助などの居住支援、ぶどうの学校・こねぎの学校などの就農支援など、多種多様な若者移住支援に取り組んでいる。

**問③** 大分県内全ての小・中学校や高校、特別支援学校を対象に文科省が実施した昨年度のい

じめ認知件数は過去最多数だったが宇佐市の状況は。

**答** 市教委では、軽微であってもいじめの認知件数として報告するよう各校に指導しており、平成27年度調査では、小・中学校合わせて年間40件で、過去4年間ほぼ同数で推移している。

**問④** 健康促進について、『ゆるスポーツ』を広めて健康促進や地域交流を推進してみては。

**答** 健康づくりに健康チャレンジ事業の実施、高齢者ふれあいサロンでは仲間づくりと生きがいづくりなど、地域の実情や目的にあった取り組みを行っている。提案については調査・研究し、関係者にも意見を伺う。

**問⑤** 宇佐市山地区に神が隠れる山と呼ばれる麓にある、USAの看板に多くの人が集まっています。このスポットを民間と行政で観光スポットと位置づけPR出来ないか。

**答** 市も支援しているが、地域の最大のコミュニティ組織である「北馬城地区まちづくり協議会」の中で、地域において、この場所が観光スポットとしての認識で整備が必要だという願いであれば、当然、市も協力していく。

# A型事業所の不適切な運営を正せ！



高橋宜宏 (至誠会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載しております。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

**問①** 障害者が雇用契約を結んで就労訓練を受ける「就労継続支援A型事業所」の利用者、職員の数及び支援費補助金は、厚労省や県が示した不適切な運営を行っている事業者はないか。

**答** 市内には5事業所あり、利用者数は91人、職員数47人、昨年度の事業費は1億1千6百万円。指定及び監査権限のある県からの不適切な事業運営を行っている事業所の通知等はない。

**問②** ネットに給付費を丸ごと賃金に充てている不適切な運営を行っていると思いき2事業所の報告書がアップされていたが、知っているのか。

**答** 把握している。しかし、現在A型はB型と違い、給付費を賃金に充ててはいけなさと明記されていない。県は新年度から条例改正を行うとのことだ。

**問③** 給付費とは、本来管理者等がチームを作り行うための公的なお金。しかし、この2事業所は最初からこの給付費を当て込んで事業を始めた不適切なケースだ。作業内容、就労実態は

**答** 5事業所を調査したが、仕事は行っている。ただ、給付費を賃金に当てずに事業収益で賄っていたのは1事業所のみだ。

**問④** この2事業所は、永年市の障害者福祉に携わっていた管理職OBが代表だったというのは本当か。また、退職1年後の平成23年4月に例のA型事業所を立ち上げているというのは本当か。

**答** そういう事実はある。

**問⑤** 市は、職員の退職管理に関する規制・制度を設けていないのか。この件は問題ないのか。

**答** 職員の退職後の再就職に対する規制はあるが、この件が問題になるかは連絡も受けておらず、今後詳しく調べるほかない。

**問⑥** 市も、今後給付決定や給付金支給もするわけだから、適正に使われるかをしっかり指導して欲しいが、如何か。

**答** 利用者支援会議で法令違反の疑いがある場合や、外部からの通報があれば調査を実施する。

# 中津市民病院小児科夜間診療について



大隈尚人 (市民連合)

**問①** 中津市民病院小児科夜間診療取り止めについて、市としてどう考えるか。

**答** 中津市民病院では、22時以降の緊急電話相談を設け、診察が必要と判断された場合は緊急対応を行う。

**問②** 全県に高齢者の見守り体制をつくるということで、市町村や企業が協議したと聞く。市としてどのような体制を考えるのか。

**答** 大分県孤立ゼロ社会推進プロジェクト連絡協議会では、少子高齢化や人口減少社会の進行を踏まえ、地域で支援が必要な方々を市町村や社会福祉協議会等に加え、民間事業者の協力をいただくことで多重的な見守り体制を構築することになっている。

**問③** 中津市では、九州初の公有民営バスを運行することに

なった。宇佐市に住む高齢者にとっても、交通手段の確保が必要だと思うが、市の考えは。

**答** 今後も高齢化が進み、路線維持が困難になると想定される。運転手確保や財政的支援を国へ要望するとともに住民の声を聞き、利便性向上をめざしたい。

**問④** 浄化槽は、申し込みに対して国の助成金額が少なく、次年度まで待つ人が出ると聞く。市の単独予算はできないか。

**答** 合併浄化槽の普及促進は、生活排水処理率向上の重要な施策であることから、単独処理浄化槽から転換の要望や新築戸数の動向を注視しながら、十分な予算の確保に努めたい。

**問⑤** 今後、交付税が減ったり、合併特例措置がなくなったりすると思う。大型プロジェクトが続くが、市の財政の見通しは。

**答** 普通交付税における合併特例債の算定替えに備えて、これまで財政調整基金をはじめ、公共施設整備基金等の特定目的基金についても積み増しを行ってきた。これらの基金等を活用しながら、健全財政枠組みの中で、各施策の推進に取り組みきたい。

# ふるさと納税の返礼品の再考を



中村明美 (明政会)

- 問① ふるさと納税について。
- (1) 本市の返礼品と還元率についてはどう考えているか。
- 答 返礼品は宇佐ブランド認証品や特産品等で、還元率は、昨年と同様22・3%である。
- (2) 商品釣りでなく、郷土出身者などの準市民的な人に納税を求め、返礼品にふるさとメニューとして、お墓の掃除や空き家の管理、「同窓会応援制度」の創設等を考えてはどうか。
- 答 要望があれば、サービス品として協議したい。
- 問② 高齢者の運転免許証の返納対策と、ライドシェア（民間有償サービス）等の検討について。
- (1) 周辺地域ほど交通手段の確保は最重要課題である。返納支援制度以上の対策として、民間で協力し、支え合うライドシェア

ア等の取り組みはできないか。

答 ライドシェアは、白タク行為として国から指摘されたこともあり、タクシー事業者の経営を圧迫する危険性もあるので、早急な取り組みは困難である。

問③ NPO院内問題について。

(1) 市は、事件の経緯を明確にし、真相究明と被害にあった女性たちに誠意をもって対応する意思はあるか。

答 既に民事訴訟と刑事告訴を行っている。関係資料については、弁護士と協議の上、可能なものは公表したい。

(2) 市が告訴している現段階での状況報告を。

答 本年1月4日に告訴状を提出し、受理されているが、捜査の情報入手には至っていない。

問④ 1月に宇佐駅で開催した「宇佐アメリカン駅」は、市内外から多くの批判的な意見が出た。補助事業でもあるが、世界農業遺産になっている国東半島の玄関口駅での開催内容としては、パロディすぎないか。

答 宇佐を全国的に発信する機会になったという声もあるが、市としての評価は定まってない。

# ようこそ滞納していただきました条例



今石靖代 (日本共産党)

- 問① 滋賀県野洲市に学んで、困った時に応援できる市政へ。
- (1) 昨年度の税の滞納者は3185人で、差し押さえ件数は310件。滞納世帯の生活状況を十分把握し、困窮者に対しては関係機関と連携した支援のしくみを作ることが必要ではないか。
- 答 納税相談の場が支援への糸口となることもあるので、これまで以上に関係各課との連携強化を図っていく。
- (2) 野洲市の「くらし支え合い条例」の生活困窮者支援の仕組みを取り入れるべきでは。新庁舎建設に向けて、相談窓口を一本化し、ワンストップサービスを行うべきではないか。
- 答 新たな窓口の設置や情報連携のあり方など他市の先進事例などを調査研究していきたい。

(3) 野洲市では、困窮者を病院から遠ざけるような「資格証」の発行は、ほぼゼロに近い。生活再建を進めるうえで適正受診は必要であり、要綱を見直すべきでは。

答 調査研究していきたい。

問② 子ども食堂への支援、学習支援事業などの検討は。

答 来年度から、市内のNPO法人が、市の中心部で子ども食堂と学習支援の場を提供する計画があり、昨年末に試行が行われた。

問③ 古い市営住宅の住み替えについて。

(1) 老朽化し、用途廃止が決まっている市営住宅の住み替えの進捗状況はどうか。

答 平成27年度から、移転補償金を支給するようになり、まだ対象が101戸残っている。

(2) 引っ越し費用の立て替えができませんに住み替えを断念した方がいるが、改善を。

答 住み替えを推進するためにも支払方法の改善を検討する。

# 傍聴規則を改正しました。

傍聴規則の目的は、「傍聴の手続を具体的に定め、市民の皆様が円滑に傍聴できるようにするとともに、会議の秩序を維持する」ことにあります。

この度、「個人情報保護への配慮、円滑な受付手続にする窓口対応の改善」の観点から、全国市議会議長の標準傍聴規則に準じて所要の改正を行いました。

主な改正内容は、受付時において、従前の一覧式の用紙「傍聴人受付簿」に複数が住所、氏名を記入する様式から、個人別、団体別に個別の用紙「傍聴申込書」に記入する様式に改めました。

特に、団体傍聴の場合は、受付時の混雑を是正するため、全員が記入するのではなく、代表者または責任者が、自らの住所、氏名と団体の名称、人員数を記入する様式に改めました。

なお、記入された「傍聴申込書」は、投函箱に入れていただき、以後は、どなたにもお見せしないようにしております。

市民の皆様には、傍聴により、身近な市政の審議の状況を直接ご見聞ください。

## 森林林業活性化議員連盟が今年も香下ダムに植樹

3月13日、院内町の香下ダム周辺に、宇佐市議会議員全員で構成する森林林業活性化議員連盟が、地元の下地区、両川地区まちづくり協議会の協力を得て、ソメイヨシノ、イロハモミジをそれぞれ12本ずつ植樹しました。

平成26年度から継続して3年目になります。季節ごとに移ろいゆく、ふるさとの豊かな風景の中で、ウォーキングやお花見など、市民の皆様がくつろげる憩いの場となることを願っております。



## 当初予算を特別委員会で審査

3月9日、10日、13日の3日間にかけて、平成29年度宇佐市一般会計予算を、議長出席のもと23名の議員で審査しました。

斉藤文博委員長長の議事進行により、総額282億4,300万円の当初予算を、部署ごとに所管する予算の内容について詳細説明を受けた後、各議員が1人あたり20分以内の持ち時間で質疑を行い、最後に討論・採決を行いました。

従来の各常任委員会での分割審査と比べて、時間は要しましたが、委員会審査の段階で全議員が同じ内容を共有し、より多角的な視点から議論して審査を深めていくという大変意義深いものになったのではないかと感じております。

### 《6月定例会の予定》

- 6/2 **開会** 提案理由の説明
- 6/13~16 一般質問
- 6/20 議案質疑
- 6/21 常任委員会の審査  
(文教福祉・産業建設)
- 6/22 (総務)
- 6/28 **閉会** 委員会の審査報告、  
質疑・討論・採決

## 編集後記



別れと出会いの春も過ぎ、現在の議会活性化特別委員で編集する最後の議会報となりました。「宇佐市議会で議論されたことを、正しく伝えたい。」という思いと責任のなかで、誤解をまねかないように句読点の配置まで推敲してまいりました。市民の皆さまにとって、分かりやすいものとなっていたでしょうか。

当委員会は、議会だよりの編集・発行と併せて議会の活性化を目指すものです。議会は、市民の声を市政に反映する場です。活発な議会は、市民に寄り添った市政が行われていると考えられます。昨年の12月議会では、一般質問に16名が登壇し、議会報のレイアウトに苦慮する反面、喜ばしいことも捉えられました。

宇佐市議会の議場は、市民の皆さまの後押しを受けて発言できるよう、議席の後方に傍聴席が配置されています。より一層の議会活性化に御力添えをいただけますよう、委員一同、心よりお願い申し上げます。

(川谷光紹)